



県会議員

よしかず

高田

県政だより

2014年7月号 6月県議会特集
発行 高田よしかず事務所 西牟婁郡白浜町2171

集团的
自衛権

安倍内閣の解釈改憲に 強く抗議



和歌山城前で解釈改憲反対の宣伝行動

高田県議は6月定例県議会の一般質問の冒頭、次のように発言しました。

高田 安倍内閣は歴代の自民党政権がとってきた半世紀以上にわたる国会や国民への約束をおもとからひっくり返し、日本を海外で戦争できる国へとつくりかえようとしています。日本への直接の武力攻撃がなくても国民の権利が根底か

ら覆される「おそれ」があれば、海外での武力行使ができるようにするという内容です。「おそれ」さえあれば武力行使できるとなれば本当に恐ろしいことになります。

それを国会にも説明せず、国民的な議論もないまま与党の密室協議だけで強

行しようとする安倍内閣のやり方に強く抗議をしたいと思います。



自衛隊の防災訓練について

高田 この6月1日～11日にかけて「南海レスキュー26」と銘打った陸上自衛隊

中部方面隊の防災訓練が愛知、三重、和歌山、徳島、高知などで実施されたようです。



5月30日、知事あて申し入れをする日本共産党県議団

日本共産党県議団として5月30日に知事あての申し入れを行い、県は訓練内容の全容を把握し、積極的に住民に公表すること、および、安全性の確保や生活環境への影響について、県としてチェックし問題点があれば自衛隊に改善

の要望をおこなうことの2点を求めました。
しかし結局のところ、住民に訓練の詳細が知らされないままの実施となりました。6月4日に南紀白浜空港で行われた訓練には自衛隊、米軍あわせて5機のヘリコプターにくわえて輸送機などが定期便の合間をぬって訓練を行いました。なかでも米軍の2機のヘリは地上におりてからもずっとエンジンを回しっぱなしで騒音がひどく付近住民からは苦情がでました。たいへん残念に思います。
地域の防災を最初から他国の軍隊に依拠することは憲法の規定からも、また、防災の在り方としても問題だと思っています。



南紀白浜空港で訓練する米軍ヘリ

民間空港を防災訓練という名で米軍が使用した例はこれまでありましたか。答弁をお願いします。

危機管理監 防災訓練で米軍機が使用するのは初めてであると防衛省に確認しております。

高田 米軍機が防災訓練として民間機が使用する空港を使用したのは初めてという重要な答弁でした。そしてそれも防災訓練をする自衛隊機のなかに含ませて空港使用許可を申請したことが明らかになっています。

こういう解釈が可能なら、防災訓練と名をつければ自衛隊と米軍が日本中どこでもセットで訓練できるようになるではありませんか。

今後、自衛隊の訓練が県内である場合、県が内容を把握するとともに、その情報がいかに住民に周知されるようすべきだと思いますがいかがでしょうか。

危機管理監 今後、その情報については、県からも必要に応じて、ホームページや資料提供などを通じて県民に周知してまいりたいと考えております。

南海トラフ地震への備え

高田 物資の備蓄状況についてうかがいます。食糧や水、燃料などの備蓄という点では、家庭での1週間分以上の備蓄が推奨されています。

そこで質問ですが、家庭での備蓄を今後どのように進めていくか。また、県としての備蓄はどうなっているか答弁をお願いします。

あわせて、病院や福祉施設の入所者、旅館など観光客への対応はどうなっているでしょうか。

危機管理監 県では、各種啓発事業において、各家庭で普段から消費している食料の蓄えを増やし、消費しながら備蓄する「ところてん方式」での備蓄も呼びかけております。

福祉保健部長 県では、発災直後3日間の食糧、飲料水などを避難生活者のために、県・市町村・県民の3者での分担備蓄をすることとしています。

そのうち県分は、約8万食で、うち30万食は、在庫

備蓄として各振興局、特に

災害時の搬送等を考慮して西牟婁・東牟婁振興局へ重点的に備蓄を進めています。

残り58万食は、流通備蓄として民間企業との間で災

害時の物資調達協定の締結を進めているところです。

なお、平成26年3月末時点での在庫備蓄は14万5千食分となっています。

病院・福祉施設についてですが、食糧、医薬品については、おおむね3日分の備蓄を行っています。

商工観光労働部長 一般的に旅館等では、通常営業時

カツオの不漁問題

高田 地元のすさみ町でのケンケン鰹の不漁はご承知のとおりであります。今年3月の水揚げは平年比の40分の1以下です。

すさみ町では以前から「景気は海から」と言われ、それほど漁業というのは大



において、生鮮食材を除き、数日分の食料、飲料水等を貯蔵しているため、市町村から食料等の供給、あるいは宿泊客が避難所へ避難するまでの間は、在庫食

材、飲料水等を宿泊客に提供していたくよう、市町村を通じて働きかけてまいります。

不漁の原因についてはいろいろ説がありますが、

フィリピン東方の黒潮源流域という海域ではカツオ資源が明確に減少していることが研究発表されています。

私は中西部の太平洋におけるカツオを対象としたま

き網の漁獲規制強化とカツオの生態研究、資源量調査など必要な手立てを国や各

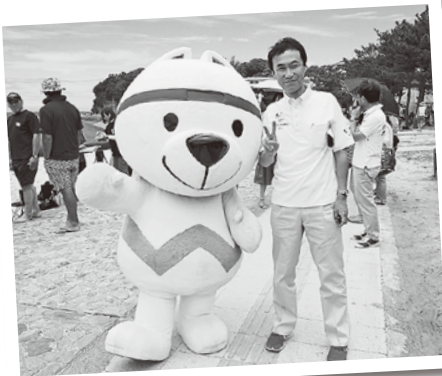
県とも連携をとって和歌山県が取り組むよう要望しておきます。

その他、高田県議は、高速道路整備にともない、郵便橋付近の県道で発生した渋滞について質問。県警の働きかけで渋滞が解消されました。

東へ西へ



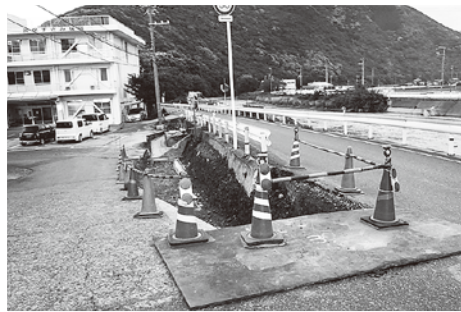
上富田町で通学路の安全問題をくき町議と調査



白浜ビーチラグビー大会にて、きいちゃんと



カツオ不漁問題で竹本町議と調査に



地元から要望のあったすさみ病院前の道路拡幅が実現



エイドステーションを担当した南紀白浜トライアスロン大会



番所山公園オープン式典に丸本・広畑両町議と参加